



これからは「働き上手・休み上手」 ～男女ともに働きやすい職場とは～

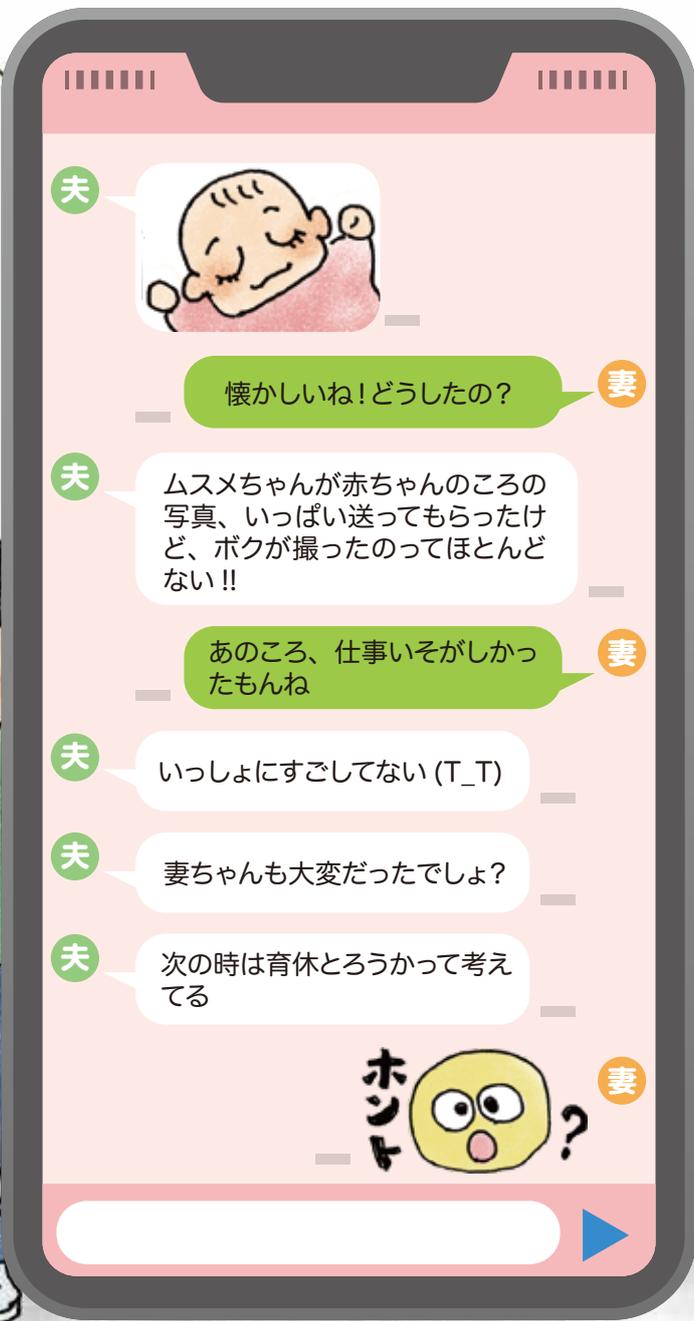
世は令和。乳幼児健診への夫婦同行や、男性のベビーカーを押す姿、抱っこ紐で赤ちゃんを抱く姿も珍しくなく見かけるようになりました。育児は夫婦で協力しあうスタイルが定着しつつあるようにも感じられます。しかし、鹿児島県における男性の育児休業取得日数の現実、なんと都道府県別順位は46位。全国平均3.7日を下回る0.8日という結果です。(積水ハウス調べ／小学生以下の子どもがいる20～50代対象)

育休取得したくてもできなかった方の中には「給与が減少する不安」「職場を長く離れ、戻るときの雰囲気不安」との声がありました。一方で、育休取得した男性の88.6%が「育児に関し、よい変化があった」と答えています。(明治安田生命保険調査より)

仕事と、育児を含む生活との調和(ワーク・ライフ・バランス)をとるには、どうしたらよいのでしょうか。



久しぶりに同級生にあったらとてもイキイキしていた!育休をとったらいい。お互いの子どもの話で盛り上がり、写真の見せ合いっこをしたときにいろいろ思ったんだあ…



夫  懐かしいね!どうしたの?

妻 懐かしいね!どうしたの?

夫 ムスメちゃんが赤ちゃんのころの写真、いっぱい送ってもらったけど、ボクが撮ったのってほとんどない!!

妻 あのところ、仕事いそがしかったもんね

夫 いっしょにすごしてない(T_T)

夫 妻ちゃんも大変だったでしょ?

夫 次の時は育休とろうかって考えてる

妻 ホント  ?



働きやすい職場づくりって? 育児・介護休業法が改正されるの?

続きは裏面へ!

レッツゴー!

働きやすい職場づくりを目指し イクボス宣言

平成30年1月5日に6項目からなるイクボス宣言(*1)をされた(有)竹内建設の竹内利彦社長に、編集委員が直撃インタビューしました。どんな取り組みをされているのか、社員の働き方や会社の業績の変化などについてお話しいただきました。

イクボス宣言書
我々は、部下の育児・介護・WLBを応援するため、以下の事項を約束します。
1. 私は、仕事を効率的に終わらせ早く帰る部下を評価します。
2. 私は、土日、定時以降には、仕事の依頼はしません。
(できるだけ)
3. 私は、無断に残らず、率先して早く帰ります。
4. 「え、男なのに育児？」などは絶対に言いません。
5. 私は、部下のどんな相談にも応じます。
6. 社員の育児・介護のサポートができる職場にします。



(有)竹内建設代表取締役
竹内 利彦氏
同社は1983年創業の建設会社 従業員24人

「早く仕事を終わらせる」、「社員が楽しく仕事に来られる」を実現するために行動

朝のミーティングで、早く仕事が終わるよう効率的な作業方法や段取りを全員で知恵を出し合い実行しています。翌日の作業段取りも本日の作業時間内で行うことで、残業はほぼ無く、土日の休日も多くなりました。育休の取得は、対象となる職員がいなかったため取得実績はありませんが、孫の面倒を見るためやPTA活動で休みを取る職員はいます。

部下への声かけをこまめに行い問題はすぐに解決するように努めています。女性社員からの要望で、女性専用のトイレや洗面所、更衣室を新たに設置しました。

従業員の健康面、生活環境のことなど、自分から相談することができない社員もいるので、社長から声をかけるよう心掛けています。嫌な気持ちで仕事に来るのではなく、楽しく仕事に来てほしいと思っています。

男性ばかりの職場に初めて採用され、女性専用のトイレが欲しいと相談したら翌日には手配して頂きました。家事負担の多い現状にある女性職員に勤務条件の配慮もあり感謝しています。



社員同士の支え合いにより人材が充実! 業績もアップ!

介護や田んぼ等で、前もって休む予定が分かっていたら、仕事の段取りをして社員みんなでサポートしています。社員同士話し合い、支え合っています。他の会社は人材不足と聞いていますが、我が社は人材の流出はなく充実しているので業績も上がっています。結果が出ているのかなと思います。

イクボス宣言をしたことで、色々考えるキッカケになりました。仕事だけで人生を終わらせるのではなく、家のことをしたり、遊びに行ったり、毎日を楽しく過ごせる時間が、人生の中で大事だと思うようになりました。

会社の方針として仕事と生活の調和を目指しています。私自身も、子供と一緒にスポーツを楽しんだり、ボランティア活動に参加したりして日々の生活を充実させています。

(*1) イクボス宣言……職場で働く部下やスタッフの仕事と家庭の調和を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らが仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者や管理職)となることを宣言。

育休制度や会社の対応について学ぼう!

育児・介護休業法改正(新設・男性版産休)を前に、いま、企業が取り組むべきことを先行事例や専門家から学びませんか。受講料は無料で託児もあります。



応援セミナー
ホームページは
こちら!

女性も男性も、 共に働きやすいこれからの職場づくり

日時 2022年1月27日(木)
13時30分~16時40分

会場 SSプラザせんだい多目的ホール

問合せ MBCサンステージ TEL: 099-255-6144

【育休制度等の相談は】

鹿児島労働局 雇用環境・均等室
鹿児島市山下町13番21号
鹿児島合同庁舎2階 TEL: 099-223-8239

事業主・労働者の方のさまざまなご相談を受け付けています。
相談は無料で秘密は守られます。

受付時間 週休日を除き8時30分~17時15分

相談方法 電話または面談

おすすめの本

また おこられてん

作/小西貴士
絵/石川えりこ



お母さんに怒られてばかりの男の子が、お母さんに嫌われているのではないかと不安になって、お父さんにお風呂で相談するお話。子供の行動一つ一つに思いがけない理由がある事を気付かされ、「怒るのは嫌いだからじゃないんだよ。」と親の気持ちが伝わる内容がジーンとくる、子供向けではありますが、親向けの本でもあります。(TAKE)

相談窓口

何でも無料相談室

とき 毎週土曜日13時~16時
ところ SSプラザせんだい
TEL: 25-6056

配偶者等からの暴力

とき 週休日を除き9時~17時
ところ 市役所障害・社会福祉課
TEL: 20-6343(直通)
DV相談ナビ #8008

よりそいホットライン

(暮らしの困りごと、気持ちや悩みなど)
とき 24時間対応
TEL: 0120-279-338

編集後記

これまでの時代はがむしゃらに働き、土に根を張る「土」の時代。これからの時代はどんな風にも吹かれて生きられる「風」の時代と教えてくれた人がいます。【働き上手、休み上手】~仕事と生活の調和を社会全体でもっと考えていけることを私たちは心から願い、ネットワークを広げていきたいと思っています。(英)

編集/薩摩川内市男女共同参画推進実行委員会
作成/薩摩川内市企画政策部ひとみらい政策課
発行/令和4年1月
問い合わせ先/〒895-8650 薩摩川内市神田町3-22
TEL: 0996-23-5111(内線4741)
FAX: 0996-20-5570
Email: hitomirai@city.satsumasendai.lg.jp